

# 1.3.1.1\_10

## 「知る」 尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

<1> 「知る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現(P2)

<2> 「知る」の尊敬語表現 (P3)

<3> 「知る」の謙讓語表現 (P4～P5)

<4> 参考出典情報 (P6)

資料作成者: 日本語ナレッジ推進委員会第1組より作成します。

・作成メンバー: 朱明霞、蔡秀潔

・一次レビュー者: 姜微(組長)

最終レビュー・補記訂正者: 久世さん

# 1.3.1.1\_10「知る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

## 「知る」の尊敬語、謙讓語、丁寧語の表現

### 基本形

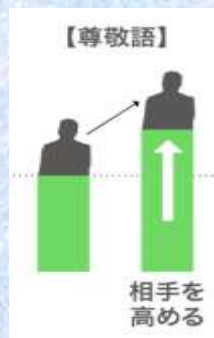
知る

敬意を表す  
方向

### 使用方法

### 尊敬語

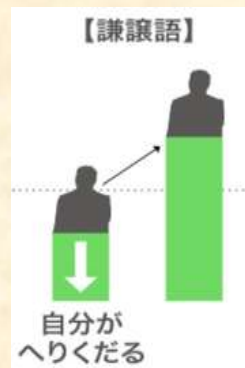
ご存じ、  
お知りになる、  
知られる



- ・相手を自分より上におき、相手を尊ぶことで敬意を表す。
- ・主に、目上の方や上司、お客様などに対する言葉遣いとして用いられる。(自分ではない人の行動に使用する。)

### 謙讓語

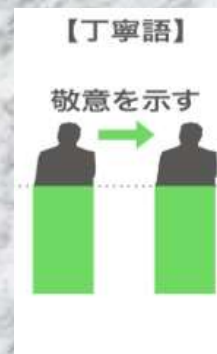
存じる、  
存じ上げる、  
承知する(知るの類義語)



- ・自分を相手より下におき、自分がへりくだることで敬意を表す。
- ・主に、自分側の行為などについて述べ、その行為が向かう先の相手を敬う言葉遣いとして用いられる。(自分の行動に使用する。)

### 丁寧語

知ります



- ・自分と相手に上下の関係はなく、丁寧な表現を使って敬意を表す。
- ・相手にも自分にも使える。



## 1.3.1.1\_10「知る」尊敬語、謙譲語、丁寧語の違い

「知る」の尊敬語表現：「ご存じだ」「お知りになる」「知られる」

◇「知る」の尊敬語は、「ご存じだ」「お知りになる」「知られる」という表現になります。

- ・最も使用されるのが「ご存じだ」という表現です。
- ・「御存じだ」という尊敬語独自の動詞を持つ場合、「お＋動詞＋になる」の用法は一般的ではありません。（ビジネスの中では普通は使いません）
- ・「お知りになる」は会話の中では「お尻になる」と同じ音になるため、違和感があるケースも考えられます。
- ・「知られる」は広く知れ渡っていることを指す言葉（例：これは世の中で幅広く知られている事柄です）と類似しているため、誤解を招くことがあります。

◇「ご存じだ」と「存じる」を注意する必要があります。

- ・尊敬語の「ご存じ」は謙譲語の「存じる」と似ています。そのため、使う時には注意することが大切です。「ご」を付け忘れてしまうと、相手の方の動作に謙譲語を使うことになり、失礼にあたります。「知る」が自分の動作なのか、相手の方の動作なのか、しっかりと意識して使い分けましょう。

－「Mayonez」から引用

<https://mayonez.jp/topic/1019910>

例文：

- ・先方も、この件に関してはすでにご存じです。
- ・既に皆さまご存じかもしれませんが、再度ご案内申し上げます。
- ・新規出店の件については、すでにご存じでいらっしゃいますでしょうか。
- ・近年の離職率について、ご存じでしょうか。

## 1.3.1.1\_10「知る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

「知る」の謙讓語表現：「存じる」、「存じ上げる」、類義語「承知する」

◇「知る」の謙讓語として「存じる」、「存じ上げる」との表現があります。

- ・ご自身の「知る」という動作を目上の方に伝えようとする時に、「存じる」「存じ上げる」という謙讓語を使います。
- ・「存じる」よりも「存じ上げる」の方がより丁寧な言い回しになります。  
敬意表現の強さ順位：「存じる」＜「存じ上げる」

注意

◇「承知する」は「知る」の類義語であり、謙讓的な言いまわしです。

- ・例えば、「(物事を)知っている」という場合には「存じる」を使いますが、「事情を知っている」という場合に「承知する(承知している)」を使用します。

<https://biz.trans-suite.jp/36264#i-2>

「存じております」がよく使う謙讓表現

注意

◇「存じております」は「知る」の謙讓語としてよく使用される。

- ・「存じております」は目上の人に対して「知っています」と言う場合に使う表現です。
- ・「存じています」というよりも、「存じております」の方が丁寧な印象を与えます。

<https://biz.trans-suite.jp/36264#i-2>

例文：・その件に関しては、存じております。

・A社の〇〇さんについてはよく存じております。

・申し訳ありません、存じません。



## 1.3.1.1\_10「知る」尊敬語、謙譲語、丁寧語の違い

### 「存じ上げております」はより丁寧な表現

◇「存じております」に対し、さらに丁寧な言い回しをする場合には、「存じ上げております」という表現を使います。

注意

- ・特に、「存じ上げております(存じ上げる)」という表現は、「Aさんを知っている」という風に、**対象を「人物」に限定して使うのが特徴**です。
- ・「存じ上げる」は本来は人物に対して使う表現ですが、実際のビジネスシーンでは強い敬意を示すために、しばしば「人物以外」に対しても用いられているようです。

<https://biz.trans-suite.jp/36264#i-2>

例文: 山田部長のことは、かねてより存じ上げております。

・佐藤様のお名前は存じ上げております。

・御社のご要望は存じ上げております。

### 状況や事情には「承知しております」を使う

注意

- ◆人物に対し、状況や事情などを「知っている」と表現する場合の謙譲語は、「承知しております」を使います。
- ◆「承知しておりました」とすると「知っていました」という意味になります。 <https://biz.trans-suite.jp/36264#i-2>

例文: A社からの要望については、承知しております。

・お忙しいことは重々承知しておりますが、何卒ご協力の程お願いいたします。

・(「変更点について聞いたか?」という問いに)「はい、承知しております。」





## 1.3.1.1\_10「知る」尊敬語、謙讓語、丁寧語の違い

- ◇「知る」の丁寧語は「知ります」です。「知っている」の丁寧語は「知っています」です。  
丁寧語としての「知っています」は「知る」(動作)ではなく、「知っている」(状態)を表す際に用いますので、この言い方が一般的です。
- ◇一般的には「知っています」がよく使われています。尊敬語や謙讓語のように目上の人との会話以外でも、幅広く使われます。
- ◇「知っている」の否定は、通常「知らない」ではなく、「知らない」という形式になります。

—「Mayonez」から引用

<https://mayonez.jp/topic/1019910>

### 例文:

- ・〇〇さんの電話番号を知っています。
- ・このお店までの道順を知っていますか。
- ・この商品の保管場所を知りませんか。

### 参考出典情報

<1>「知る」の正しい敬語は？【尊敬語・謙讓語・丁寧語】

<https://mayonez.jp/topic/1019910>

<2>「知る」の正しい謙讓語は？【尊敬語・謙讓語・丁寧語】

<https://biz.trans-suite.jp/36264#i-2>